



2023年10月30日

各 位

会社名 中央発條株式会社
コード番号 5992 東証スタンダード・名証プレミア
代表者 代表取締役社長 小出 健太
問合せ先 総合企画部長 藤田 誠一
T E L 0 5 2 - 6 2 4 - 8 5 5 0

当社藤岡工場 第4工場事故に関するお知らせ（第3報）

10月16日に発生した弊社 藤岡第4工場 シャンばねライン乾燥炉の事故により、近隣住民の皆様、お客様、関係各位には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことに、改めて深くお詫び申し上げます。

皆様のご支援、ご協力を頂き、弊社 藤岡第4工場を復旧し、10月21日には生産を再開することができました。

今後、二度とこのような事態を起こさぬよう再発防止策を徹底していくと共に、皆様に安心・信頼して頂ける生産・供給体制の構築強化に努めてまいります。

なお、本件は弊社 連結業績に与える影響は現時点で精査中でございます。

詳細が判明しましたら、2024年3月期の業績見通しとして、お知らせいたします。

記

〈事故概要〉

発生日時：10月16日（月）12時15分

発生工場：愛知県豊田市深見町向イ洞1071-1 藤岡工場 第4工場

事故内容：シャンばね塗装ライン内の乾燥炉での爆発

人的影響：社員2名が軽傷（1名が病院受診、1名は社内医務室にて対応）

物的影響：建屋：シャッター、窓枠など外壁、床面の一部が破損

設備：塗装工程の塗装前処理設備、塗料塗布設備、焼付乾燥炉が破損

〈発生原因〉

- ・通常、燃焼室のバーナーで作り出した熱を乾燥炉へ送り込んでいるが、燃焼室と乾燥炉の間を循環しているダクトのフィルターの目詰まりが起き（隣接エリアでの撤去工事で発生した粉塵の影響）、空気循環が悪化したことにより、熱が燃焼室内に閉じ込められ、高温異常が発生
- ・バーナー燃焼用の空気供給量を抑えたところ、燃焼室から不燃ガスが発生、乾燥炉内に流入・蓄積
- ・その後、炉内温度が下がり過ぎたため、バーナーへの空気供給量を増やした際、バーナーの火が強まり、炉内の不燃ガスに到達し引火・爆発

〈再発防止策〉

- ・すでに高温異常時の設備停止ルール徹底、第4工場内のガス炉フィルター点検等の措置は実施済みであり、今後、作業手順の見直し、作業員への安全に関わる再教育等による人的対策と、不燃ガス検知器の設置・検知時の自動停止機能追加等の物的対策を早急を実施して参ります。
- ・併せて、人的・物的両面の対策の全社展開を図ることで、事故を二度と発生させない様、全社を挙げて体質強化を図って参ります。

以 上